

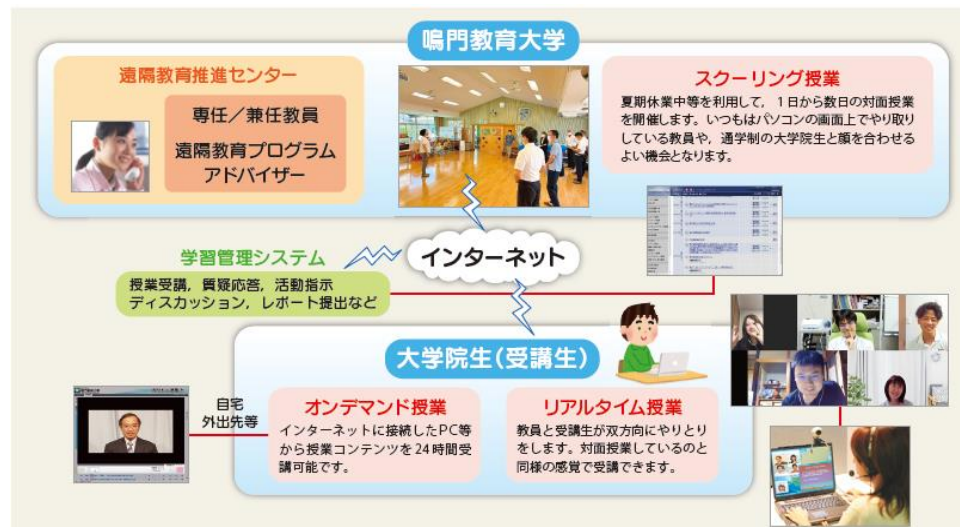
働きながら学ぶ現職教員のために、幼児教育コース、学校づくりマネジメントコース、生徒指導コース、学習指導力・ICT教育実践力開発コースの4コースに、遠隔システムを活用した「教職大学院遠隔教育プログラム」を令和4年度に開設し、新たな大学院教育を推進している。

### 1 遠隔教育プログラムのねらい

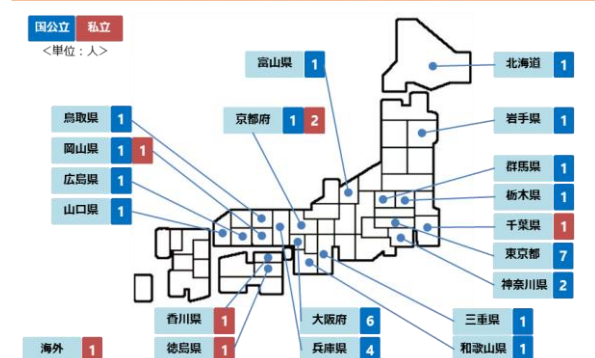
学校を離れて教職大学院で学ぶことが困難な教員あるいは大学院派遣制度の対象とならない教員（私立学校教員）等が、教職大学院での学修機会を得ることができるよう、働きながら学ぶことのできる教職大学院の教育プログラムを提供する。

### 2 遠隔教育プログラムの特色

- 働きながら学ぶことを可能とするため、柔軟な履修方法を工夫し、フレックスタイム・カリキュラム制で長期履修学生制度（修業年限3～5年）を設けている。
- 学修スタイルでは、大学院生の個別の学びだけでなく、院生同士の学び合い（学修コミュニティ）及び指導担当教員による継続的・個別的指導（伴走型指導）を組み合わせ、働きながら学ぶことのメリットを活かし、授業での学びと学校での実践を即時的に連動させた学修を展開している。
- 専任メンターを配置して、院生の個別指導・相談体制を整え、仕事と学修の二刀流をサポートしている。



### 令和5年度入学者 38名



### 在職自治体別

1都1道2府15県

### 国公立の内訳

国公立 = 31名  
私立 = 7名

